

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	厚岸町子ども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	7年 11月 4日 ～ 7年 11月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	7年 11月 4日 ～ 7年 11月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	7年 12月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業団内で定期的に小児、発達に関する研修や事例検討を行う機会があります。	業務時間内に研修があることで、多くの職員が参加することができています。また、他事業所と意見交換や情報共有を行うことができています。	今後も積極的に事例検討に参加し、他事業所の様々な職種から意見や情報をもらい、療育に活かしていきます。
2	職員の資質の向上を図るため、さまざまな研修会に参加しています。	資質向上の為、内外の研修会に参加したり、研修後に職員間で情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
3	職員間の情報共有および関係機関との連携ができています。	職員は朝の打合せや職員会議、個別支援計画会議等の場で情報を伝えたり意見を出し合っています。また、保育園をはじめ関係機関とは、送迎時に情報交換や引継ぎを行っています。	今後も継続していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児と地域との交流機会や保護者同士の交流機会の企画ができていないです。	療育内容や支援といった「本人支援」に重点を置いており、「家族支援」「地域支援・地域連携」に対する情報収集・取り組みが不足していると感じています。	安全面を考慮しながら、近くの公園等から少しずつ交流の機会を増やしていく。また、地域の活動等の情報収集を行います。
2	保護者との連絡体制が不十分なところがあります。	連絡ノートでのやりとりを中心に行っているが、保護者からの意見や要望についての聞き取りが十分ではありませんでした。	送迎時や連絡ノートを通じてコミュニケーションが取りやすい体制作りをしています。
3			